

消防だより

火

の用心

Tokamachi Fire Department

No.84



平成27年7月20日

特集

これからの
消防体制と
消防における
救急体制

今回の「消防だより火の用心」から連続三回に渡り、「あすの十日町地域を守る新たな消防・救急体制を考える」を主テーマに特集でお伝えしていきます。



消防体制

消防力の見直しを図る

平成23年に策定した「第二次十日町地域消防再編計画」に基づき、5つの項目を骨子とした施策に取り組んでいます。

施策の中でも「地域防災力の強化」として、地震で大きく被災した消防本部庁舎と西分署を移転統合し、当地域の防災拠点としての機能を有した新消防本部庁舎の建設が進められています。また、災害の複雑化・大規模化に対応するために、組織体制の一元化を図り、任務分担の明確化や効率的な部隊運用を図ります。これから消防に求められる多くのことに対応し、より一層のサービス向上のための施策推進に取り組んでいます。

「安心安全の向上のため、消防力の充実・強化」をテーマに5つ施策を展開。

身近な生活の安心・安全

消防施設等の整備

危機管理体制の充実

救急救命体制の充実

地域防災力の強化

※平成28年4月の運用開始に向けて工事を進めています。(写真は7月1日現在)

十日町消防は

変革

を迎える!!

十日町・津南地域では、救急・医療体制に関して「3つの大きな動き」がある。

1 新潟県が運航する2機目のドクターヘリ導入(予定)

ドクターヘリは、その優れた機動性と迅速性により、いち早く医師による初期治療を開始できます。当消防本部もドクターヘリを有効に活用し、平成24年10月30日の運航開始から平成26年12月31日までの間に要請回数224件、その内実際にドクターヘリが到着し医療活動を実施したものが86件で、この実績は県内でもトップクラスとなっています。大なる新潟県内をより手厚くカバーするために2機目のドクターヘリが導入される予定です。現在の配置場所(新潟市)よりも、より近い場所への配置が期待されることから、現在よりもドクターヘリの到着時間が短縮され、当地域における救急医療体制の充実が更に図られることが期待されます。

2 魚沼基幹病院の開院

魚沼基幹病院には、三次救急(生命に関わる重大な疾患や外傷を持つ患者さんに対応する医療)を担うため、魚沼地域に初めてとなる「救命救急センター」が設置されています。従来は長岡圏域の医療機関に頼ることもあった医療を魚沼基幹病院が受け持つことで、地域完結型医療体制が整備されることとなります。

魚沼地域初、救命救急センター設置病院の開院

十日町地域における平成26年中の救急出動件数は2,773件で、この内、高度専門医療を受けるため、地域内の病院から地域外の病院へ救急搬送する「転院搬送」は355件で、全体の約13%を占めています。魚沼基幹病院が開院したことにより、三次医療病院への搬送時間の短縮が図られ、転院搬送ではなく、救急現場から救命救急センターへの直接搬送となる場合も増えることとなります。

※平成27年6月1日に魚沼基幹病院が開院されました。

新潟県内でドクターヘリ2機目導入



救急体制

救命救急の プロを養成する 救急ステーション



十日町病院完成予想図

新十日町病院に
救急ステーションを開設

救急ステーション予定位置



※イメージ写真

当 消防本部は、新十日町病院内に新潟県と合築という形で救急ステーションを設置します。

この施設は、「救急救命士」の医療技術や知識の習得・維持に対して大変効果的であるとして、国は整備・推進を図っていますが、現在のところ、全国でも約60か所程度が整備されているだけで、そのほとんどは大都市の三次救急を担う医療機関にしか設置されていないのが現状です。

この体制の導入は、県立十日町病院が地域の災害拠点病院であることや第二次十日町地域消防再編計画の一つでもある「救急救命の充実」などから、新潟県の「十日町病院改築事業基本設計の概要」に「地元消防と連携した救急と災害医療体制の強化」として、その整備方針に盛り込まれたことにより、実現が可能となったものです。

救急ステーションとは、病院に消防の施設を設け、救急車と救急隊員を配置して、救急救命士が医療現場での研修を行う施設です。救急要請があると消防本部通信指令室の出勤指令により、ここから出勤します。

次回は「新十日町地域消防本部」についてお知らせします。
(11月発行予定)



消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0036 新潟県十日町市北新田一番地10
編集 総務課庶務広報紙 ■電話 025(757)0119 ■FAX 025(757)8499
■ホームページ <http://www.tokamachi-kouriki.jp/> ■メール tfst19@tokamachi-kouriki.jp